

市政に対する一般質問一覧表

平成29年第3回定例会

質問順位 1

議席番号 12番

氏名 春日 洋子

質問方式 一問一答 質問時間 20分

質問事件	質問の要旨
<p>1. 行政問題</p>	<p>1. 五輪メダルへの活用に向けた小型廃家電の回収運動について 2020年の東京五輪・パラリンピック競技大会に向けて、機運を盛り上げる取り組みのひとつとして「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」があります。そのことから、プロジェクトへの参加に向けて本市のご見解をお伺いします。</p> <p>2.ペアレントトレーニングについて ペアレントトレーニングは知的障害や発達障害のある子どもを持つ保護者向けに開発されたプログラムです。より良い育児の方法を探す手段として有効と考えることから、本市の取り組みをお伺いします。</p> <p>3. 市立図書館への書籍消毒機設置について 書籍を殺菌消毒することは多くの方に気持ちよく利用していただくとともに、図書館資料を大切にすることを育むことにもつながると考え、書籍消毒機設置について本市のご見解をお伺いします。</p>
<p>2. 福祉問題</p>	<p>「認知症カフェ」について 「認知症カフェ」は認知症の人やその家族、地域住民が自由に参加し、日頃の悩みや疑問を話し合うことができる場です。そこで設置に向けて本市のご見解をお伺いします。</p>
<p>3. 教育問題</p>	<p>1. 「LLブック」の整備について 「LLブック」は一般的な情報提供では理解が難しい人でも読書が楽しめるように工夫してつくられた「やさしく読みやすい」本であり、文部科学省の学校図書館ガイドラインでも整備を推奨していることから、整備についてのご見解をお伺いします。</p> <p>2. 「セカンドブック事業」導入について 子どもたちが読書の楽しさを知るきっかけをつくり、自発的な読書活動につなげることを目的に小学校1年生に本を贈呈する「セカンドブック事業」導入について本市のご見解をお伺いします。</p>

質問順位 2

議席番号 3番

氏名 佐々木卓也

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
1. 若者の雇用促進について	<p>青森県労働局は今春の県内新規高卒者の最終就職状況について、就職率が99.9%で、就職希望者3368人のうち3366人が就職し、就職先の内訳は県内が1917人(57.0%)、県外が1449人(43.0%)であったこと、また、新規高卒者の県内求人数が4871人で、求人倍率は2.54倍で過去最高であったと発表しました。</p> <p>ここで問題は求人があっても県外に就職してしまうということだと思います。</p> <p>夢を持って可能性にチャレンジする心は大切にしなければなりません。しかし、地元に残りたくても自分の求める仕事が無いということで、やむなく地元を離れる人もいるというのが実情ではないでしょうか。そして、その裏返しとして、県内企業は人手不足に陥っています。</p> <p>そこで、これらの状況を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none">①本市の経済状況、雇用情勢をどのように捉えているのか伺う。②本市の新規高卒者の就職率、就職者数(市内及び市外)、市内有効求人倍率について伺う。③市内に就職した新規高卒者の正規雇用・非正規雇用の割合について伺う。④若者の雇用推進、市内企業の人材確保に向けた市の取り組みについて伺う。

質問順位 3

議席番号 2番

氏名 田嶋孝安

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
1. 福祉政策について	<p>三沢市総合振興計画後期計画にも記載されているバリアフリーですが、障がい者という観点だけでなく、今後、人口の割合から高齢者数が増えて行く中で施設のバリアフリー化が求められております。バリアフリーは三沢市においてもバリアフリー化に伴い、新しい施設においては積極的にバリアフリー化が進められ、内容も充実してきていると感じる。しかしながら、古い施設等においてはなかなか難しい点が蓄積されているのかバリアフリー化が進むのかが懸念されます。市の公共施設は災害時に避難場所にもなることからバリアフリーに対して積極的に推進していくべきと考えます。そこで2点伺います。</p> <p>1. 三沢市総合振興計画、後期基本計画において I 健康で助け合うまちづくりの5障がい者福祉の充実では「公共施設のバリアフリー化を推進するとともに、民間業者、各種団体、市民等に対し重要性についての理解の促進を図る。」事としておりますが、これまでの進捗状況と取組状況について伺います。</p> <p>2. 公共施設のアストメイト対応等の多目的トイレ設置状況及び市民への周知方法について伺います。</p>

質問順位 4

議席番号 5番

氏名 遠藤 泰子

質問方式 一問一答 質問時間 10分

質問事件	質問の要旨
<p>1. 福祉問題</p> <p>2. 少子化定住化問題</p>	<p>1. 認知症対策について</p> <p>認知症施設推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づき当市も認知症サポーター養成や認知症初期集中支援チーム設置などの取り組みが進んできていると思うが、これまでの成果と、今後の取り組みについて伺う。</p> <p>2. 手話言語にかかる当市の方向性について</p> <p>全国の自治体で手話言語条例制定が進みつつあり県内では黒石市が制定した。黒石市では、条例を制定した後、市の積極的な取り組みにより、聴覚障がい者から喜びの声が上がっている。当市の手話言語にかかる当市の今後の方向性について伺う。</p> <p>1. 婚活事業の取り組みについて</p> <p>①平成28年度第2回定例会において、婚活事業への取り組みについて一般質問した。答弁ではニーズに沿った交流機会をつくり出す方策を検討するため、勉強会やシンポジウムなどを通じて情報収集し、取り組みについて市民に発信するとの答弁があった。これまでの実績について伺う。</p> <p>②新聞報道（8月20日東奥日報）では、県内各自治体の約6割が婚活事業を実施しているとのことであり、当市も他の団体に頼るだけでなく、市の施策として積極的に取り組むべきと思うが考えを伺う。</p>